

取扱説明書

FlexScan[®] MH240W

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず本取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1の規格要求に従ってください。

使用上の注意

モニターについて

もくじ

第1章 はじめに

- 1-1 特長
- 1-2 スイッチ名称
- 1-3 機能一覧

第2章 基本操作

- 2-1 操作スイッチの使用方法
- 2-2 メニューの操作方法
- 2-3 お買い上げ時の設定に戻す
- 2-4 操作スイッチをロックする

第3章 設定と調整をする

- 3-1 入力を切り換える
- 3-2 画面の調整をする
- 3-3 カラー調整をする
- 3-4 音声を調整する
- 3-5 PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示にする
- 3-6 表示サイズを切り換える
- 3-7 オフタイマー設定をする
- 3-8 モニターの節電設定をする
- 3-9 電源ランプ /EIZO ロゴ表示を設定する
- 3-10 モニターの操作音を設定する
- 3-11 モニター情報をみる
- 3-12 表示言語を設定する

第4章 こんなときは

第5章 ご参考に

- 5-1 アーム取付方法
- 5-2 仕様
- 5-3 用語集
- 5-4 プリセットタイミング

第6章 アフターサービス

セットアップについて

コンピュータなど外部機器との接続から使いはじめるまでの説明についてはセットアップマニュアルをお読みください。



絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。




注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。




注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、入力された映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

Copyright © 2008 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Apple、Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。

VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の商標です。

Windows、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

NEC は日本電気（株）の登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

EIZO、FlexScan、ScreenManager は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

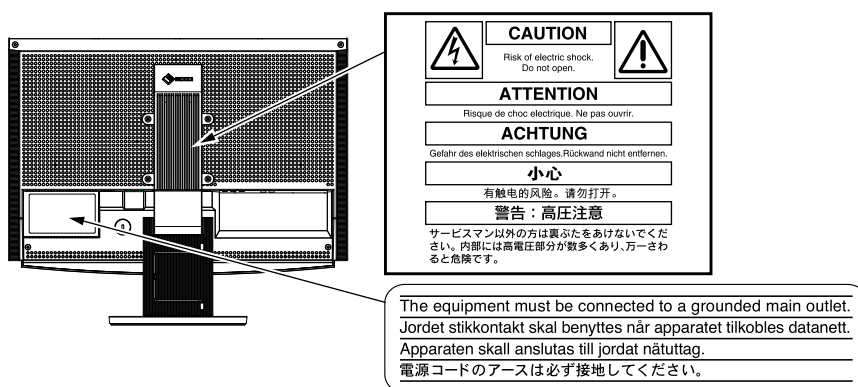
その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

⚠ 使用上の注意

重要

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



【本体に使われている記号】

記号	使われている場所	意味
	前面	電源スイッチ
	背面 ネームプレート	交流
	背面	危険警告・感電
	背面	注意 本書内、「絵表示について」参照

⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

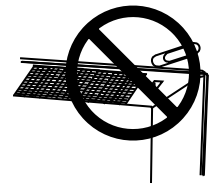


警告

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

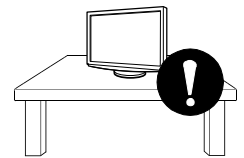
万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

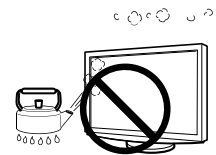
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- ・屋外。車両・船舶などへの搭載。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- ・油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- ・可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

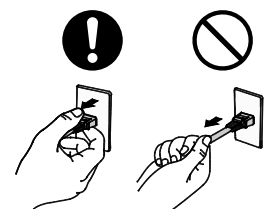
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

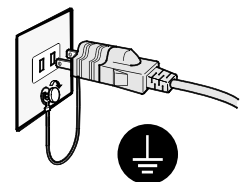
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

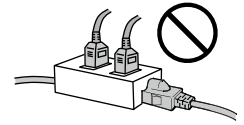


警告

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- ・タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示に従い、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

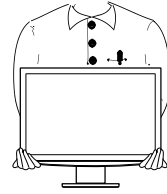
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

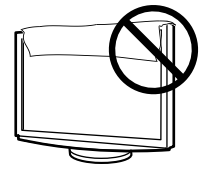
落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- ・通風孔の上や周囲にものを置かない。
- ・風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与える原因となります。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままで行うと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



モニターについて

本製品は、内視鏡画像表示用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げた使用をおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。
(次ページ「[クリーニングのしかた](#)」参照)

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

本製品をご使用の際は、万一使用中に画面が表示されなくなった場合のことを考え、複数台のモニターで映像を表示するか、または代替機を準備されることを強くおすすめします。

モニターの安定動作のため、定期的な保守点検をおすすめします。点検は、販売店またはエイゾーサポートにご依頼ください。（有料）

クリーニングのしかた

注意点

- ・溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、消毒薬、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

参考

- ・液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner (オプション品) をご利用いただくことをおすすめします。
-

液晶パネル面

- ・汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- ・落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

もくじ

使用上の注意	3	3-5 PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示にする ..	28
モニターについて	7	●モニターに PC 入力画面 (親画面) と VIDEO 入力画面 (子画面) を同時に表示する [PinP]	28
クリーニングのしかた	8	●子画面の位置を変更する [子画面位置]	30
モニターを快適にご使用いただくために	8	●子画面の透明度合いを設定する [半透明]	30
第 1 章 はじめに	10	●子画面の表示サイズを切り換える [子画面サイズ]	30
1-1 特長	10	3-6 表示サイズを切り換える	31
1-2 スイッチ名称	12	●画面に表示される画像 / 映像のサイズを切り換える [画面サイズ]	31
1-3 機能一覧	13	3-7 オフタイマー設定をする	33
第 2 章 基本操作	15	●モニター電源を切る時間を設定する [オフタイマー]	33
2-1 操作スイッチの使用方法	15	3-8 モニターの節電設定をする	33
2-2 メニューの操作方法	16	●節電モードからの復帰条件を設定する [信号検出設定]	33
●入力切換メニューの基本操作方法	16	3-9 電源ランプ / EIZO ロゴ表示を設定する	34
●設定メニューの基本操作方法	16	●画面表示時の電源ランプを消す [電源ランプ]	34
2-3 お買い上げ時の設定に戻す	17	●モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示]	34
●カラー調整をリセットする [リセット]	17	3-10 モニターの操作音を設定する	34
●すべての設定をリセットする [リセット]	17	●ビープ音を設定する [ビープ音]	34
2-4 操作スイッチをロックする	17	3-11 モニター情報をみる	35
●使用できる機能を制限する [操作ロック]	17	●設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション]	35
第 3 章 設定と調整をする	18	3-12 表示言語を設定する	35
3-1 入力を切り換える	18	●メニューの言語を選択する [言語選択]	35
●表示したい機器が接続されている入りに切り換える [入力切換]	18	第 4 章 こんなときは	36
3-2 画面の調整をする (コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ)	19	●メッセージ一覧	40
3-3 カラー調整をする	23	第 5 章 ご参考に	41
簡易調整	23	5-1 アーム取付方法	41
●カラーモードを選ぶ [カラーモード]	23	5-2 仕様	42
詳細調整	24	5-3 用語集	46
●カラーモードの調整 / 設定をする	24	5-4 プリセットタイミング	48
●調整内容	25	第 6 章 アフターサービス	50
●明るさを自動で調整する [明るさ自動調整]	26		
3-4 音声を調整する	27		
●[音量 / 高音 / 低音 / バランス / 音声レベル] を設定する	27		

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1 特長

- ・ワイドフォーマットビデオ信号入力対応 24 インチ
- ・表示解像度 1920 ドット×1200 ライン
- ・コントラスト拡張、輪郭補正機能搭載
- ・PinP（ピクチャーインピクチャー）機能搭載
- ・周囲と表示映像の明るさに応じてモニターの明るさを自動で調整可能
- ・スライダーを採用し、優れた操作性を実現
- ・ArcSwing2 スタンドにより自由自在にモニター画面の高さ・角度の調整が可能
- ・マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」を添付

【コンピュータ信号入力対応】

- ・DVI-D コネクタ×1、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ×1（2系統）
- ・水平周波数、垂直周波数は以下の通り；

水平周波数	デジタル信号入力時	31.5～76kHz：各プリセット信号±1kHz
	アナログ信号入力時	31.5～80kHz：各プリセット信号±1kHz
垂直周波数	デジタル信号入力時	59～61Hz：各プリセット信号±1Hz (VGA TEXT 69～71Hz) (720p/1080p※時は49～51Hzも対応)
	アナログ信号入力時	55～76Hz：各プリセット信号±1Hz (720p/1080p※時は49～51Hzも対応)

※マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

- ・フレーム同期モード対応（49.60～50.40Hz、59.50～60.50Hz）
- ・USB ポート（アップストリーム×2、ダウンストリーム×2）搭載
- ・DVI デジタル入力（HDCP）対応
- ・USB オーディオ機能搭載
- ・接続した USB 機器を2台のコンピュータで使用可能

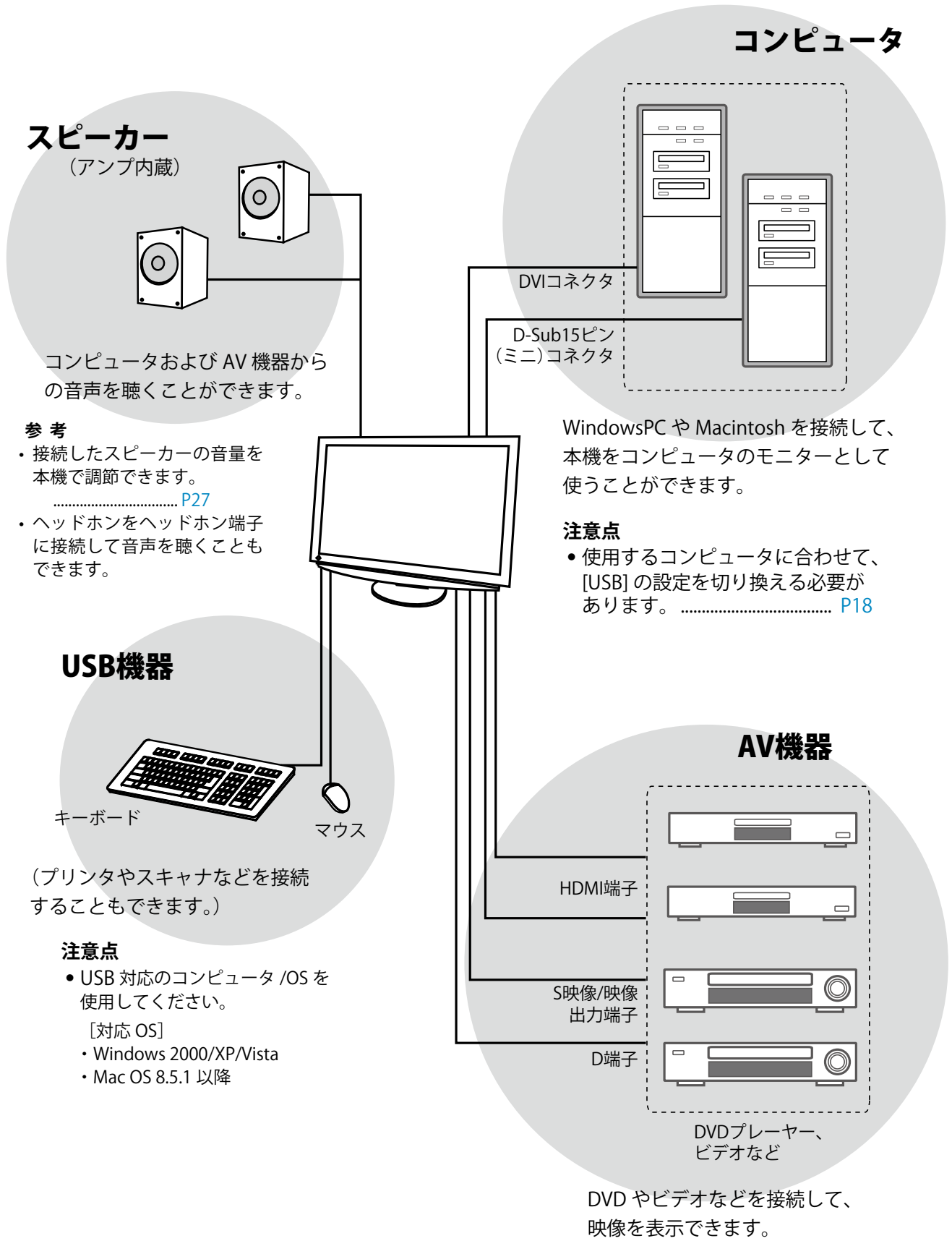
【ビデオ信号入力対応】

- ・HDMI 端子×2、S 映像 / 映像入力端子×1、D 端子×1（4系統）

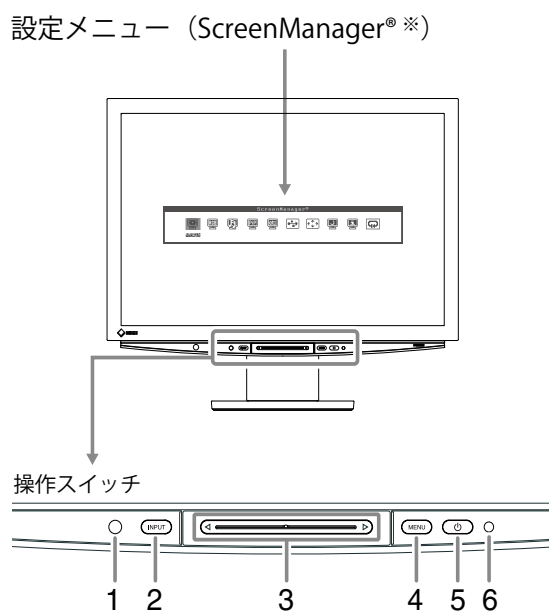
参考

- ・本機はスタンド部分を取り外してアーム（別のスタンド）を取り付けることができます。（「5-1 アーム取付方法」P41 参照）

使用例



1-2 スイッチ名称



1. センサー (周囲の明るさを検知)
2. 入力切換スイッチ (INPUT)
3. スライダー
4. メニュースイッチ (MENU)
5. 電源スイッチ (⏻)
6. 電源ランプ

ランプ状態	動作状態
青	画面表示
オレンジ	節電モード
消灯	電源オフ

※ ScreenManager® は当社設定メニューのニックネームです。
(本書では、メニュー内の設定/調整項目名を<>で表しています。例:<カラー調整>)

参考

- ⏻以外でも MENU、INPUT、スライダーに触れるとモニターの電源が入ります。
- 画面表示時の電源ランプ (青) を消すことができます。(「画面表示時の電源ランプを消す」P34 参照)

1 - 3 機能一覧

入力を切り換えるときは

1 画面表示のとき



入力切換メニュー（操作方法は P16 参照）

- 表示したい機器が接続されている入力に切り換える [入力切換] P18 参照

PinP（ピクチャーインピクチャー）表示のとき



- 親画面 / 子画面の入力を切り換える P29 参照
- 音声を残したまま子画面の表示だけを消す [子画面表示オフ] P29 参照

設定 / 調整をしたいときは

（コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ：PC 2 入力）



設定メニュー（操作方法は P16 参照）

1 画面の調整をする

P19 参照



画面調整メニュー

- 画面を自動で調整する [自動画面調整]

2 画面の詳細な調整をする

- 縦縞を消す [クロック] P20 参照
- ちらつきやにじみをとる [フェーズ] P21 参照
- 表示位置のずれを直す [水平ポジション] P21 参照 [垂直ポジション] P21 参照
- 正しい解像度で画面が表示されなかった場合に設定する [解像度] P37 参照
- 色階調を自動調整する [自動レンジ調整] P22 参照
- 画面にノイズが現れた場合に設定する [信号フィルタ] P37 参照

PinP（ピクチャーインピクチャー）表示にする

P28 参照



PinP 設定メニュー

- モニターに PC 入力画面（親画面）と VIDEO 入力画面（子画面）を同時に表示する [PinP] P28 参照
- 子画面の位置を変更する [子画面位置] P30 参照
- 子画面の透明度合いを設定する [半透明] P30 参照
- 子画面の表示サイズを切り換える [子画面サイズ] P30 参照

カラー調整をする（簡易調整）

P23 参照



カラー調整メニュー

- カラーモードを選ぶ [カラーモード]

カラー調整をする（詳細調整）

P24 参照

- それぞれのモードに対して、[ブライトネス / 黒レベル / コントラスト / 色の濃さ / 色合い / 色温度 / 輪郭補正 / コントラスト拡張 / ゲイン / ガンマ / ノイズフィルタ / I/P 変換] の設定ができます。モードごとに設定できる機能は異なります。

お買い上げ時の設定に戻す

- カラー調整をリセットする [リセット] P17 参照

音声を調整する

P27 参照



サウンド設定メニュー

- [音量 / 高音 / 低音 / バランス / 音声レベル] を設定する。

- ・ [] 内は機能名です。
- ・ 入力によって設定できる機能が異なります。（「設定メニュー項目一覧」 P44 参照）

設定 / 調整をしたいときは (つづき)



設定メニュー
(操作方法は P16 参照)

お買い上げ時の設定に戻す

P17 参照

- すべての設定をリセットする [リセット]



本体設定メニュー

表示言語を設定する

- メニューの言語を選択する [言語選択] P35 参照

明るさを自動で調整する

- 周囲と表示映像の明るさに応じて画面の明るさを調整する [明るさ自動調整] P26 参照

モニターの節電設定をする

- 節電モードからの復帰条件を設定する [信号検出設定] P33 参照

電源ランプを設定する

- 画面表示時の電源ランプを消す [電源ランプ] P34 参照

モニターの操作音を設定する

- ピープ音を設定する [ピープ音] P34 参照

画面サイズを自動で切り換える

- 入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズを自動的に切り換える [画面サイズ自動切換] P31 参照

カラースペースを設定する

- 正しく色が表示されない場合に設定する [カラースペース] P39 参照

フィールド周波数を設定する

- 使用する地域に合わせて設定を切り換える [フィールド周波数] P39 参照

モニター情報をみる

P35 参照



インフォメーションメニュー

- 設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション]

オフタイマー設定をする

P33 参照



オフタイマーメニュー

- モニター電源を切る時間を設定する [オフタイマー]

USB 設定を切り換える

P18 参照



USB メニュー

- 使用するコンピュータに合わせて設定を変更する (USB 接続時) [USB]

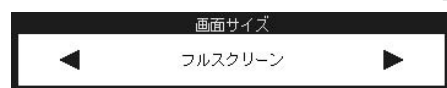
EIZO ロゴ表示を設定する

P34 参照

- モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示]

表示サイズを切り換える

P31 参照



画面サイズメニュー

- 画面に表示される画像 / 映像のサイズを切り換える [画面サイズ]

操作スイッチをロックする

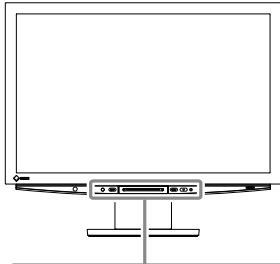
P17 参照

- 使用できる機能を制限する [操作ロック]

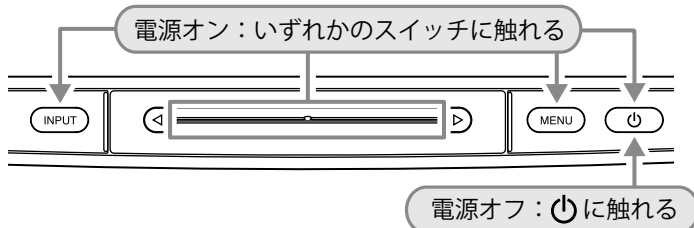
- ・ [] 内は機能名です。
- ・ 入力によって設定できる機能が異なります。(「設定メニュー項目一覧」 P44 参照)

第2章 基本操作

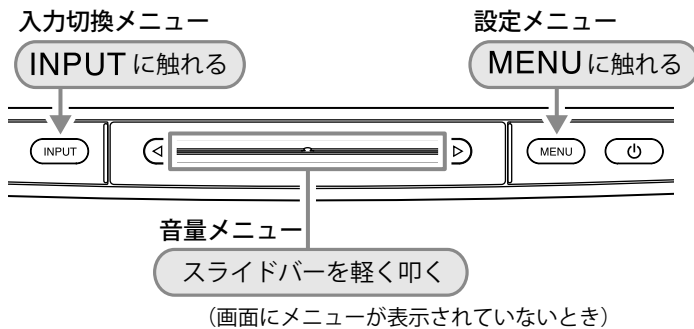
2-1 操作スイッチの使用法



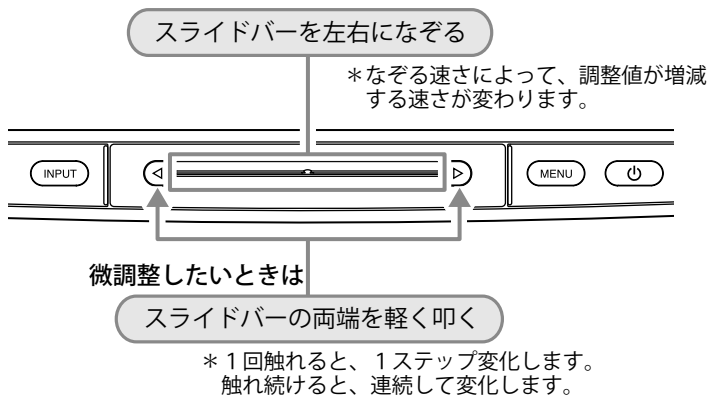
■電源をオン/オフするとき



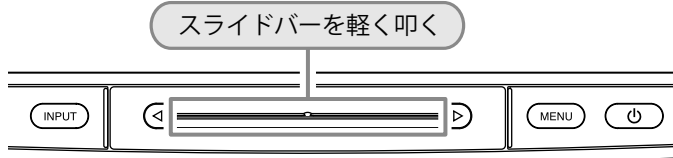
■各種メニューを表示/終了するとき



■項目を選択する/設定・調整をするとき



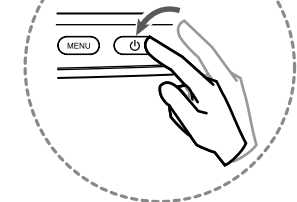
■項目を決定する/設定・調整を確定するとき



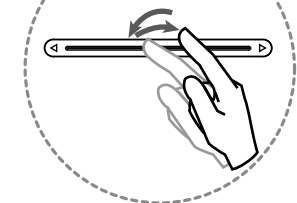
参考

- スwichの操作には次の3つの方法があります。

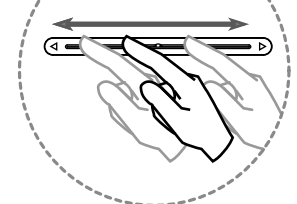
- 触れる



- 軽く叩く



- 左右になぞる



2-2 メニューの操作方法

● 入力切換メニューの基本操作方法

[入力切換メニューの表示と入力の選択]

- (1) 操作スイッチのINPUTに触れます。
入力切換メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって入力を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
画面が表示されます。

[入力切換メニューの終了]

- (1) 操作スイッチのINPUTに触れます。
入力切換メニューが終了します。

● 設定メニューの基本操作方法

[設定メニューの表示と機能の選択]

- (1) 操作スイッチのMENUに触れます。
メインメニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
サブメニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定 / 調整メニューが表示されます。
- (4) スライダーを左右になぞって設定 / 調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定 / 調整が確定します。

[設定メニューの終了]

- (1) 操作スイッチのMENUに触れます。
設定メニューが終了します。

参考

- サブメニュー表示がない機能もあります。

2 - 3 お買い上げ時の設定に戻す

● カラー調整をリセットする [リセット]

現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定（工場出荷状態）に戻します。

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <カラー調整>メニューで<リセット>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「現在のカラー設定はリセットされます。」の確認メッセージが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「リセット」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

● すべての設定をリセットする [リセット]

[フィールド周波数]、[USB]、[音量] 以外の設定 / 調整状態をすべて初期設定（工場出荷状態）に戻します。

[設定方法]


- (1) 設定メニューの<リセット>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「フィールド周波数、USB 以外の設定がリセットされます。」の確認メッセージが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって「リセット」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

2 - 4 操作スイッチをロックする


● 使用できる機能を制限する [操作ロック]

一度設定 / 調整した状態を変更しないように操作スイッチをロックし、使用できる機能を制限することができます。

[設定方法]

- (1)  に触れて、いったん電源を切ります。
- (2) MENU に約 3 秒触れます。
操作ロックがかかり（「操作ロック：オン」と表示）画面が表示されます。


[解除方法]

- (1)  に触れて、電源を切ります。
- (2) MENU に約 3 秒触れます。
操作ロックが解除され（「操作ロック：オフ」と表示）画面が表示されます。

参考

- 初期設定値は、「主な初期設定（工場出荷設定）値」（P45 参照）を参照してください。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
 -  による電源オン / オフ
 - INPUT、MENU、スライダーによる電源オン
 - 操作ロック機能のオン / オフ
 - EIZO ロゴ表示機能のオン / オフ（P34 参照）

第3章 設定と調整をする

3-1 入力を切り換える

● 表示したい機器が接続されている入力に切り換える [入力切換]

[設定方法]

- (1) INPUTに触れます。
入力切換メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞってモニターに表示したい機器の入力を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
画面が表示されます。

■ コンピュータと USB 接続している場合には [USB]

使用するコンピュータの入力に合わせて、[USB] の設定を切り換えてください。

設定	使用状態
PC 1 (デジタル信号)	PC 1 を使用するとき
PC 2 (アナログ信号)	PC 2 を使用するとき

[設定方法]

- (1) 設定メニューの < USB > を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
< USB > メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって「PC 1」 / 「PC 2」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

[メッセージが表示された場合]
「USB の設定を切り換えると、現在選択中の PC との USB 接続は切断されます。切り換えを実行しますか？」の確認メッセージが表示されたときは、右の注意点 (設定切換時の注意事項) を確認し、手順 3 に進んでください。
- (3) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

参考

- ・ 「PinP」を選ぶと PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示になります。
- ・ PinP 表示のときに入力を切り換える場合は、P29 を参照してください。

注意点

- ・ [USB] が適切に設定されていないと、モニターに接続した USB 機器が動作しなかったり、スピーカーから音が出ない場合があります。
- ・ 設定を切り換える際には次の点に注意してください。
 - モニターに USB メモリなどの記憶装置を接続している場合、データの消失・破損の恐れがあります。記憶装置を取り外してから設定を切り換えてください。
 - 音楽再生アプリケーションなどが起動している場合、設定を元に戻したときに音声が出力されなくなることがあります。アプリケーションを終了してから設定を切り換えてください。

3 - 2 画面の調整をする (コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ)

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているコンピュータの設定を変更した場合には、画面の調整をしてください。正確に表示されている場合は、調整の必要はありません。

以下の場合には自動画面調整機能がはたらきます。

- ・モニターに今まで接続されたことのない信号が入力された場合
- ・入力信号の解像度やリフレッシュレートを変えた場合で、今までに入力されていない信号の場合

[調整手順]

1 自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

[自動画面調整]

- (1) 設定メニューの <画面調整> を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<画面調整>メニューが表示されます。
- (2) <画面調整>メニューで <自動画面調整> を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」の確認メッセージが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「はい」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

- (1) 「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットします。
- (2) ご使用の OS が Windows の場合：ディスクの起動メニューから「画面調整ユーティリティ」を起動します。
ご使用の OS が Windows 以外の場合：画面調整パターン集を開きます。

- ・画面が正確に表示された場合 → 手順 5 へ
- ・画面が正確に表示されていない場合 → 手順 3 へ

【参考】

- ・デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

【注意点】

- ・VGA など低解像度の信号では自動画面調整機能ははたらきません。
- ・調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してから行ってください。

【注意点】

- ・この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- ・一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

【参考】

- ・自動画面調整後に画面が正しい解像度で表示されなかった場合は、入力信号の解像度を手動で設定してください。解像度を設定すると、再度 [自動画面調整] が実行されます。(「第4章 こんなときは」P37 参照)

【参考】

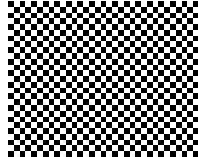
- ・画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」ファイルを参照してください。Macintosh をお使いの方はディスクの起動メニューから、直接開くことができます。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

[自動画面調整]

- (1) 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン1を全画面に表示します。



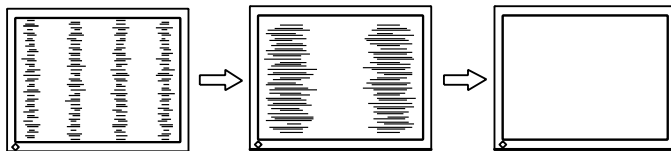
- (2) 設定メニューの<画面調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<画面調整>メニューが表示されます。
- (3) <画面調整>メニューで<自動画面調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」の確認メッセージが表示されます。
- (4) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

- ・画面が正確に表示された場合 → 手順5へ
- ・画面が正確に表示されていない場合 → 手順4へ

4 <画面調整>メニューで詳細な調整をします。

● 縦縞を消す [クロック]

- (1) <画面調整>メニューで<クロック>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<クロック>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって縦縞が消えるように調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

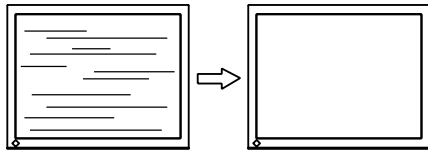


参考

- ・調整が合ったポイントを見逃しやすいので、スライダーはゆっくりになぞって調整するようにしてください。
- ・調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる [フェーズ]」にすみ調整を行ってください。

● **ちらつきやにじみをとる [フェーズ]**

- (1) <画面調整>メニューで<フェーズ>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<フェーズ>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって最もちらつきやにじみのない画面に調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。



● **表示位置のずれを直す [水平ポジション/垂直ポジション]**

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定	画面の状態
水平ポジション	<p>モニターの画面が横方向にずれて表示されているときに、画面の位置を調整します。</p> <p>The diagram shows two square frames. The left frame has a dashed border that is shifted to the left relative to the solid border. An arrow points to the right frame, where the dashed border is now centered within the solid border.</p>
垂直ポジション	<p>モニターの画面が縦方向にずれて表示されているときに、画面の位置を調整します。</p> <p>The diagram shows two square frames. The left frame has a dashed border that is shifted upwards relative to the solid border. An arrow points to the right frame, where the dashed border is now centered vertically within the solid border.</p>

- (1) <画面調整>メニューで<水平ポジション>/<垂直ポジション>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<水平ポジション>/<垂直ポジション>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって表示画面の点線枠の左右/上下部分が表示されるように調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全に消えないものがあります。

参考

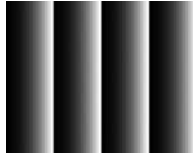
- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す [クロック]」に戻り、再度調整を行ってください。
(クロック→フェーズ→ポジション)

5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [自動レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調 (0 ~ 255) を表示できるように調整できます。

- (1) 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン2を全画面に表示します。



- (2) <画面調整>メニューで<自動レンジ調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「自動レンジ調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」の確認メッセージが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
色階調が自動的に調整されます。
- (4) パターン2を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動している場合は終了します。

3 - 3 カラー調整をする

簡易調整

● カラーモードを選ぶ [カラーモード]

カラーモードを切り換えることにより、モニターの用途に応じた表示モードに設定できます。

[PC 入力時]

表示モード (5 種類) を選択できます。

モード	状 態
テキスト	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
ピクチャー	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
ムービー	動画の再生に適しています。
カスタム (PCx [※])	お好みの設定にすることができます。
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。

※ そのとき選択している入力が表示されます。

[VIDEO 入力時]

表示モード (4 種類) を選択できます。

モード	状 態
スタンダード	標準的な映像表示に設定されています。
ソフト	映画などの映像に適した表示に設定されています。
ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
カスタム (VIDEOx [※])	お好みの設定にすることができます。

※ そのとき選択している入力が表示されます。

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <カラー調整>メニューで<カラーモード>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<カラーモード>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞってお好みのモードを選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

参考

- カラーモードの設定状態は、変更することもできます。(詳細設定 P24 参照)

詳細調整

● カラーモードの調整 / 設定をする

カラーモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

[PC 入力時]

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード				
		テキスト	ピクチャー	ムービー	カスタム (PCx※)	sRGB
	ブライトネス	○	○	○	○	○
	黒レベル	ー	ー	ー	○	ー
	コントラスト	ー	○	○	○	ー
	色の濃さ	○	○	○	○	ー
	色合い	○	○	○	○	ー
	色温度	○	○	○	○	ー
→ 詳細設定						
	輪郭補正	ー	○	○	○	ー
	コントラスト 拡張	ー	○	○	○	ー
	ゲイン	ー	ー	ー	○	ー
	ガンマ	ー	ー	ー	○	ー
	リセット	○	○	○	○	○

[VIDEO 入力時]

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード			
		スタンダード	ソフト	ダイナミック	カスタム (VIDEOx※)
	ブライトネス	○	○	○	○
	黒レベル	○	○	○	○
	コントラスト	○	○	○	○
	色の濃さ	○	○	○	○
	色合い	○	○	○	○
	色温度	○	○	○	○
→ 詳細設定					
	輪郭補正	○	○	○	○
	コントラスト 拡張	○	○	○	○
	ガンマ	ー	ー	ー	○
	ノイズ フィルタ	ー	ー	ー	○
	I/P 変換	ー	ー	ー	○
	リセット	○	○	○	○

※ そのとき選択している入力が表示されます。














注意点

- コンピュータのアナログ信号のカラー調整を行うときは、まず[自動レンジ調整]を行ってください。(色階調を自動調整する P22 参照)
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してから行ってください。
- <カラー調整>メニューの<リセット>を選択すると、現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定(工場出荷状態)に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 各モードでは調整できる機能が異なります。左の項目一覧を参照してください。

● 調整内容

メニュー	内 容	調整範囲
ブライツネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整します。	0 ~ 100%
黒レベル 	黒レベルを調整します。 参考 ・ PC 入力では RGB（赤、緑、青）個別の調整となり、VIDEO 入力では RGB 一括の調整となります。	0 ~ 100%
コントラスト 	コントラストを調整します。	0 ~ 100% 50%ですべての色階調を表示できます。
色の濃さ 	色を鮮やかにします。 注意点 ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。	-50 ~ 50
色合い 	肌色などを好みの色合いにします。 注意点 ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。	-50 ~ 50
色温度 	色温度を選択します。 参考 ・ 調整値を「オフ」に設定すると、パネル本来の色温度になります。 ・ 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。	4000K ~ 10000K まで 500K 単位で選択します。(9300K 含む)
輪郭補正 	画像の輪郭を強調したりぼかしたりします。	-5 ~ 5
コントラスト 拡張 	画像のコントラスト感を変更させることができます。	有効 / 無効
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。	0 ~ 100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
ガンマ 	ガンマ値を調整します。 参考 ・ ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。	1.8/2.0/2.2/2.4
ノイズ フィルタ 	細かいノイズや MPEG 圧縮時のノイズを軽減します。 注意点 ・ 設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。	強 / 弱 / 無効
I/P 変換 	I/P（インターレース - プロGRESSIVE）変換の処理方法を設定します。	自動 / シネマ / 動画 / 静止画 表示する映像に応じて選択してください。
リセット 	選択しているカラーモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻します。	

参考

- ・ 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。

【調整 / 設定方法】

- (1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <カラー調整>メニューで<カラーモード>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (3) <カラーモード>メニューで調整 / 設定したいカラーモードを選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (4) <カラー調整>メニューで調整 / 設定したい機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
選択した機能メニューが表示されます。
- (5) スライダーを左右になぞって調整 / 設定し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整 / 設定が完了します。

● 明るさを自動で調整する [明るさ自動調整]

モニター下部のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動で画面の明るさを調整します。

【設定方法】






- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<明るさ自動調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<明るさ自動調整>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「強」 / 「標準」 / 「無効」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

【参考】

- センサーをかくさないようにしてください。
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときは「強」にしてください。

3 - 4 音声を調整する

● [音量 / 高音 / 低音 / バランス / 音声レベル] を設定する

メニュー	内 容	調整範囲
音量 	音量を調節します。	0 ~ 30
高音 	高音域の強弱を調整します。	-15 ~ 15
低音 	低音域の強弱を調整します。	-15 ~ 15
バランス 	左右の音量バランスを調整します。	-32 ~ 32
音声レベル 	入力する音声のレベルを調整します。	-3 ~ 3

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<サウンド設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <サウンド設定>メニューで調整したい機能を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
選択した機能メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって調整し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

参考

- [音声レベル]以外の音声の調整はスピーカーとヘッドホンで個別に調整できます。ヘッドホンの調整はヘッドホンを接続しているときに行ってください。
- 外部機器の平均的音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。例えば、VIDEO 1 と VIDEO 2 で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

参考

- メニュー非表示時にスライドバーを指先で軽く叩くことによって、<音量>メニューを表示することもできます。

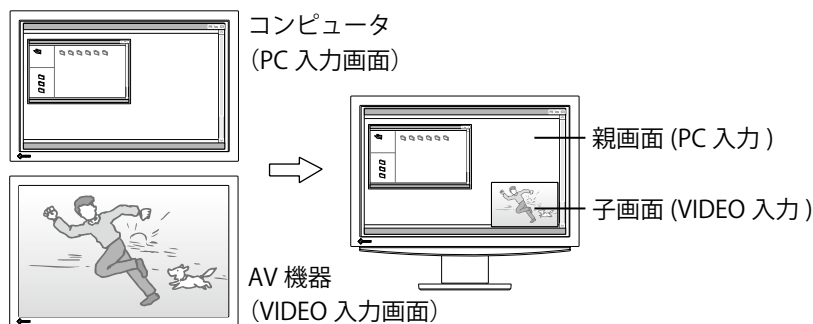
注意点

- 音声の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてください。ひずみが解消されることがあります。

3 - 5 PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示にする

● モニターに PC 入力画面 (親画面) と VIDEO 入力画面 (子画面) を同時に表示する [PinP]

本体にコンピュータと AV 機器が接続されている場合、両方の表示画像を親画面と子画面で同時に表示することができます。



[設定方法]

- (1) 設定メニューから < PinP 設定 > を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) < PinP 設定 > メニューで < PinP > を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
< PinP > メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オン」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

■ PinP 表示から元の通常画面 (1 画面表示) に戻すときは

[設定方法]

- (1) 設定メニューから < PinP 設定 > を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) < PinP 設定 > メニューで < PinP > を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
< PinP > メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オフ」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
PinP 表示が解除されます。

参考

- ・ < PinP > を「オン」にすると現在選択中の PC 入力と、VIDEO 入力で前回選択していた入力の 2 画面表示になります。
- ・ PinP 表示時は、親画面と子画面の音声と同時に出力されます。
このとき、子画面側の音声レベルの設定が親画面の音声にも有効となります。
- ・ INPUT に約 2 秒触れることでも、PinP 表示にすることができます。
- ・ INPUT に触れて入力切換メニューから PinP 表示にすることもできます。(P18 参照)

注意点

- ・ VIDEO 入力を選択しているときは PinP 機能は使用できません。
- ・ VIDEO 入力画面を親画面、PC 入力画面を子画面とすることはできません。

参考

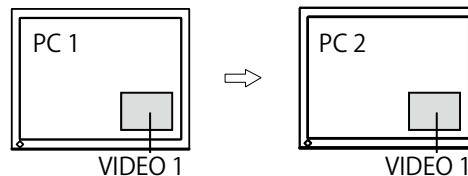
- ・ PinP 表示時に INPUT に約 2 秒触れることでも、1 画面表示に戻すことができます。

■ 親画面 / 子画面の入力を切り換えるときは

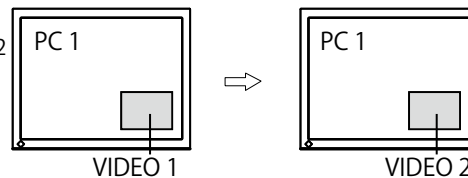
[設定方法]

1. INPUT に触れます。
入力切換メニューが表示されます。
2. スライダーを左右になぞって<親画面> / <子画面>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
親画面 / 子画面の入力切換メニューが表示されます。
3. スライダーを左右になぞって入力を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
入力が切り換わります。

[親画面の入力切換]
例：親画面を PC 1 → PC 2



[子画面の入力切換]
例：子画面を VIDEO 1 → VIDEO 2

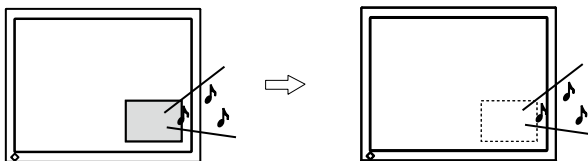


■ 音声を残したまま子画面の表示だけを消すときは [子画面表示オフ]

PinP 表示時に音声は残したまま、子画面の表示だけを消すことができます。一時的にコンピュータの画面だけを表示したいときなどに便利です。

[設定方法]

- (1) INPUT に触れます。
入力切換メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって「子画面表示オフ」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
子画面の表示だけが一時的に消去されます。



■ 注意点

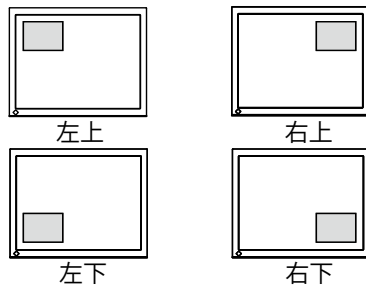
- PinP 表示時の入力切換メニューの項目は 1 画面表示のときとは異なります。
- 親画面 (PC) の入力を切り換えた場合は、[USB] の設定を切り換える必要があります。(P18 参照)

■ 参考

- 子画面を再び表示させるときは INPUT に触れてください。

● 子画面の位置を変更する [子画面位置]

子画面の位置を左上 / 右上 / 左下 / 右下から選択することができます。



【設定方法】

- (1) 設定メニューから< PinP 設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) < PinP 設定>メニューで<子画面位置>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<子画面位置>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって、「左上」/「右上」/「左下」/「右下」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

● 子画面の透明度合いを設定する [半透明]

PinP 表示時に子画面を半透明にし、親画面が透けて見えるように設定できます。

【設定方法】

- (1) 設定メニューから< PinP 設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) < PinP 設定>メニューで<半透明>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<半透明>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「0」/「1」/「2」/「3」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定を終了します。

● 子画面の表示サイズを切り換える [子画面サイズ]

AV 機器からの入力信号のアスペクト情報に応じて、子画面の表示サイズは自動で切り換わりますが（画面サイズ自動切換機能）、<子画面サイズ>メニューで子画面の表示サイズを手動で切り換えることもできます。

【設定方法】

- (1) 設定メニューから< PinP 設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) < PinP 設定>メニューで<子画面サイズ>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<子画面サイズ>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「4:3」/「16:9」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定を終了します。

【参考】

- 半透明を「0」に設定すると、子画面はまったく透けていない状態になります。（透明度は次のとおりです。「0」:0%、「1」:25%、「2」:50%、「3」:75%）

【注意点】

- 入力信号が 1080i/720p/1080p の場合、子画面の表示サイズは 16:9 で固定されます。

【参考】

- 子画面サイズを自動で切り換えたくない場合は<本体設定>メニューの<画面サイズ自動切換>の設定を「無効」にしてください。

3 - 6 表示サイズを切り換える

● 画面に表示される画像 / 映像のサイズを切り換える

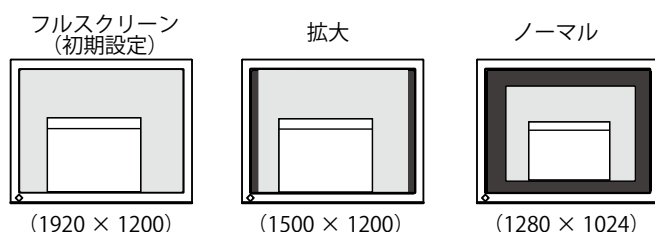
[画面サイズ]

[PC 入力時]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面全体に拡大表示されますが、
 <画面サイズ>メニューで画面の表示サイズを切り換えることができます。

設定	状 態
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280 × 1024 を表示した場合



[設定方法]

- 設定メニューの<画面サイズ>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
 <画面サイズ>メニューが表示されます。
- スライダーを左右になぞって「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
 設定が完了します。

[VIDEO 入力時]

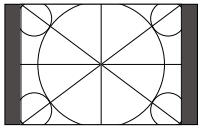
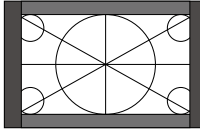
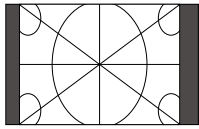
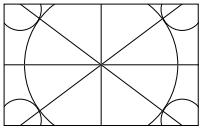
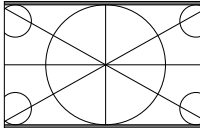
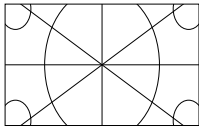
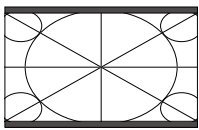
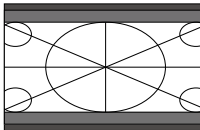
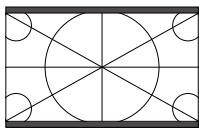
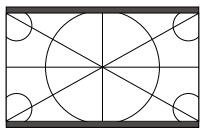
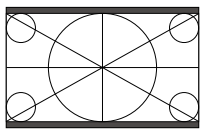
AV 機器からの入力信号のアスペクト情報に応じて、画面の表示サイズは自動で切り換わりますが（画面サイズ自動切換機能）、<画面サイズ>メニューで画面の表示サイズを手動で切り換えることもできます。

設定	状 態
4 : 3	4 : 3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16 : 9 サイズの映像は横に圧縮されます。
レターボックス	レターボックスの上下の黒帯部分をカットして、映像を画面全体に表示します。レターボックス以外は上下の一部が切れます。
16 : 9	16 : 9 の画面で表示します。映像の左右が一部切れます。4 : 3 サイズの映像は横に広がります。
16 : 9 フル	16 : 9 サイズの映像を左右を切り取らずすべて画面に表示します。画面の上下に黒帯が表示されます。 (1080i/720p/1080p の信号入力時のみ選択できます。)

参考

- 画面サイズを自動で切り換えたくない場合は<本体設定>メニューの<画面サイズ自動切換>の設定を「無効」にしてください。

画面サイズの種類と見えかたは次のとおりです。
 入力信号によって選択できる設定値が異なります。

入力信号：アスペクト比 (フォーマット)	4:3 (480i/480p /576i/576p)	レターボックス* (480i/480p /576i/576p)	16:9	
			(480i/480p/ 576i/576p)	(1080i/720p/ 1080p)
画面サイズ				
「4:3」				—
「レターボックス」				—
「16:9」				
「16:9フル」	—	—	—	

※ 16:9の映像を縦横比を保ったまま4:3に収めたもの

【設定方法】

- 設定メニューの<画面サイズ>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
 <画面サイズ>メニューが表示されます。
- スライダーを左右になぞって「4:3」/「レターボックス」/「16:9」/「16:9フル」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
 設定が完了します。

【参考】

- 「16:9フル」を選択したときに、画面の周辺部にノイズが見える場合には「16:9」を選択してください。

3 - 7 オフタイマー設定をする

● モニター電源を切る時間を設定する [オフタイマー]

モニターの電源が切れるまでの時間を設定することによって、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源が切れます。

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<オフタイマー>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<オフタイマー>メニューが表示されます。
- (2) スライドバーを左右になぞってモニターの電源が切れるまでの時間を15分単位で(15～180分)設定し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

[オフタイマーの残り時間を確認 / 変更する]

- (1) 設定メニューの<オフタイマー>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
現在の残り時間が表示されます。
- (2) 残り時間を変更したい場合は、時間が表示されている間に、スライドバーを左右になぞって変更し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

3 - 8 モニターの節電設定をする

● 節電モードからの復帰条件を設定する [信号検出設定]

現在選択中の入力に入力信号が無くなったときのモニターの動き、および節電モードから復帰する条件を設定できます。

設定項目	無信号になったとき	節電モードからの復帰条件
すべての入力	入力信号が無くなってから5秒が経過すると、節電モードに移行します。	すべての入力を監視し、無信号状態から信号を検出すると、信号を検出した入力通常状態に戻ります。
現在の入力		節電モードに入ったときに選択していた入力を監視し、無信号状態から信号を検出すると、選択中の入力通常状態に戻ります。
無効	入力信号が無くなってから45秒が経過すると、電源オフ状態になります。	

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<信号検出設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<信号検出設定>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「すべての入力」/「現在の入力」/「無効」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

【注意点】

- 電源が切れる1分前になると「まもなく電源が切れます。オフタイマーを解除するにはスライドバーに触れてください。」と表示されます。

【参考】

- 設定を「無効」にするとオフタイマーは解除されます。

【注意点】

- モニターは入力信号の変化を監視しています。節電モードに入る前から信号が入力されている場合は復帰条件とはなりません。
- PinP表示時は節電モードには移行しません。
- 設定を「すべての入力」にすると、接続する外部機器などによっては、節電モードから復帰できないことがあります。その場合は、設定を変更するか、スライドバーに触れてから表示したい機器の入力を選択してください。

【注意点】

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USBポート(アップストリームおよびダウンストリーム)に接続されている機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

3 - 9 電源ランプ / EIZO ロゴ表示を設定する

● 画面表示時の電源ランプを消す [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ（青）を消すことができます。



[設定方法]

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<電源ランプ>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<電源ランプ>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オフ」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。



● モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示]

本機の電源を入れたときに、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り換えができます。

[設定方法]

- (1)  に触れて、いったん電源を切ります。
- (2)  に約 3 秒触れます。
ロゴが表示されなくなります。

[解除方法]

- (1)  に触れて、電源を切ります。
- (2)  に約 3 秒触れます。
再びロゴが表示されます。

3 - 10 モニターの操作音を設定する

● ビープ音を設定する [ビープ音]

スイッチを操作するときの操作音や接続エラー音などを鳴らすか鳴らさないか設定できます。

音の種類	こんなときに鳴ります
ピツという短い音	・ 基本的なスイッチ操作をした際
ピーという長い音	・ 操作ロック機能のオン / オフを切り換えた際 ・ EIZO ロゴ表示機能のオン / オフを切り換えた際 ・ INPUT に約 2 秒触れて PinP 表示機能のオン / オフを切り換えた際 ・ スライドバーで設定 / 調整を決定する際
ピッピッピッピッという断続する音	・ モニターの接続が正しく行われていない場合 ・ コンピュータ、AV 機器の電源が入っていない場合 ・ 仕様範囲外の周波数を受信している場合

参考

- ・ 初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します。

参考

- ・ 初期設定ではロゴが表示されません。

【設定方法】

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<ビープ音>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<ビープ音>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オン」/「オフ」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

3 - 11 モニター情報をみる

● 設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション]

設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間が確認できます。

- (1) 設定メニューの<インフォメーション>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<インフォメーション>メニューが表示されます。
- (2) 続けてスライドバーを指先で軽く叩き、設定状況などを確認します。

【参考】

- 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3 - 12 表示言語を設定する

● メニューの言語を選択する [言語選択]

設定メニューの言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体） / 中国語（繁体）

【設定方法】

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<言語選択>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<言語選択>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって言語を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

第4章 こんなときは

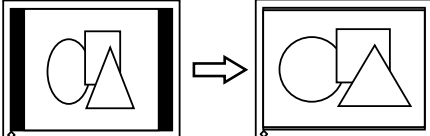



症状に対する処置を行っても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- ・ 画面が表示されない場合 → 【PC 入力時】項目 1、2 【VIDEO 入力時】項目 1、2
- ・ 画面に関する症状 → 【共通】項目 1～6 【PC 入力時】項目 3～7 【VIDEO 入力時】項目 3
- ・ その他の症状 → 【共通】項目 7～11 【PC 入力時】項目 8 【VIDEO 入力時】項目 4、5
- ・ USB に関する症状 → 【PC 入力時】項目 9

【共通】


症 状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	・ <カラー調整>メニューの<ブライツネス>または<コントラスト>を調整してみてください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
2. 残像が現れる	・ 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。 ・ この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	・ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	・ 画面全体に白い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5. 画面にノイズが現れる	・ [コントラスト拡張]、[輪郭補正]機能を利用している場合、表示パターンによっては画面の階調異常やノイズなど、正常な画面が表示されないことがあります。
6. 文字に色がつく	・ [輪郭補正]が強くかかっていると文字に色がつく場合があります。
7. 音が出ない / 音量が調節できない	・ 音声ケーブルは正しく接続されていますか。 ・ ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか。 ・ 音量を確認してみてください。(P27 参照)
8. 接続機器によって音量に差がある	・ <サウンド設定>メニューの<音声レベル>で接続機器間の音量差を軽減してみてください。(P27 参照)
9. 突然電源が切れた	・ [オフタイマー]機能を使っていませんか。[オフタイマー]の設定を確認してみてください。(P33 参照) ・ <本体設定>メニューの<信号検出設定>を「無効」に設定していませんか？(P33 参照)
10. 選択できないメニュー項目がある	・ 設定できるメニューの項目は入力ごとに異なりますので設定メニュー項目一覧を確認してみてください。(「設定メニュー項目一覧」P44 参照)
11. 操作スイッチが効かない	・ 操作スイッチがロックされていないか確認してみてください。(P17 参照)

【PC 入力時】

症 状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：オレンジ色 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく差し込まれていますか。 電源ボタンに触れてみてください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> INPUT で入力信号を切り換えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源を入れてみてください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータが正しく接続されているか確認してみてください。 ゲインの設定を確認してみてください。
2. 以下のようなメッセージが表示される <ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) 例： <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>PC 1</p> <p>信号エラー</p> <p>fD: 162.0MHz</p> <p>fH: 75.0kHz</p> <p>fV: 60.0 Hz</p> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能しているにもかかわらず、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
3. 自動画面調整を実行しても、正しい解像度で画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 解像度が正しく認識されず、画像が縮んだり伸びたりして表示される <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<解像度>で入力信号の解像度と<解像度>メニューの解像度が合うように設定してみてください。解像度を設定すると、自動で[自動画面調整]が実行されます。
4. 画像がずれている <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<水平 / 垂直ポジション>で調整してみてください。(P21 参照) ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<クロック>で調整してみてください。(P20 参照) <p>解像度を 1920 × 1200 に設定しているときは、入力している信号によって<クロック>の調整をしても症状が改善しないことがあります。その際には解像度を 1600 × 1200、1920 × 1080 などに変更してみてください。</p>
6. 画面全体がちらつく、にじむように見える <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<フェーズ>で調整してみてください。(P21 参照)
7. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> アナログ信号の場合、<画面調整>メニューの<信号フィルタ>で設定を切り換えてみてください。入力している信号によっては、症状が改善されない場合があります。その場合には、デジタル信号入力でのご使用をおすすめします。 HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。

症 状	原因と対処方法
8. 音が出ない / 音量が調節できない	<ul style="list-style-type: none"> • [USB] の設定は選択しているコンピュータの入力と合っていますか。
9. 接続した USB 機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのコンピュータとモニターのアップストリームに USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 • [USB] の設定は選択しているコンピュータの入力と合っていますか。(P18 参照) • 別の USB ポート (ダウンストリーム) に差し換えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイザーサポートにご相談ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) • 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータを再起動してみる • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる • モニター (USB ハブ) に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイザーサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。(各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。) • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。)

【VIDEO 入力時】

症 状	原因と対処方法
<p>1. 画面が表示されない</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯しない • 電源ランプが点灯：オレンジ色 • 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。 •  に触れてみてください。 • INPUT で入力信号を切り換えてみてください。 • AV 機器の電源を入れてみてください。 • AV 機器が正しく接続されているか確認してみてください。 <p>[VIDEO 1/VIDEO 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <本体設定>メニューの<フィールド周波数>で設定を切り換えてみてください。
<p>2. 以下のようなメッセージが表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力されている信号が本機の仕様に対応していません。 <p>例：</p> <div data-bbox="339 734 632 927" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>VIDEO 1</p> <p>信号エラー</p> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <p>[VIDEO 1/VIDEO 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続している機器の取扱説明書を参照し、デジタル信号のフォーマットを確認してください。(P42 参照)
<p>3. 画面の色がおかしい</p>	<p>[VIDEO 1/VIDEO 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <本体設定>メニューの<カラースペース>で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。（通常は「自動」を選択してください。）
<p>4. ビデオ機器を接続した場合に、早送り / 早戻しをすると映像が乱れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の機構上、多少乱れが出る場合があります。故障ではありません。
<p>5. 音が出ない / 音量が調節できない</p>	<p>[VIDEO 1/VIDEO 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続した機器の対応フォーマットを確認してみてください。本機の音声入力のフォーマットについては P42 を参照ください。

● メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

メッセージ	内 容
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」	[自動画面調整]を実行するときに表示されます。
「自動レンジ調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」	[自動レンジ調整]を実行するときに表示されます。
「現在のカラー設定はリセットされます。」	<カラー調整>メニューの<リセット>を実行するときに表示されます。 現在選択しているカラーモードの設定をお買い上げ時の設定に戻します。
「フィールド周波数を変更すると、画面が表示されなくなる場合があります。設定を切り換えますか？」	[フィールド周波数]の設定を変更するときに表示されます。
「USBの設定を切り換えると、現在選択中のPCとのUSB接続は切断されます。切り換えを実行しますか？」	[USB]の設定を変更するときに表示されます。 ・次の場合は設定を切り換えしないでください。 －モニターにUSBメモリなどの記憶装置を接続している場合 データの消失・破損の恐れがあります。記憶装置を取り外してから設定を切り換えてください。 －音楽再生アプリケーションが起動している場合 設定を元に戻したときに音声が出力されなくなることがあります。アプリケーションを終了してから設定を切り換えてください。
「まもなく電源が切れます。 オフタイマーを解除するにはスライドバーに触れてください。」	オフタイマー設定時、電源が切れる1分前から電源が切れるまで表示されます。 メッセージ表示中にスライドバーに触れるとオフタイマーを解除し、メッセージは消えます。
「フィールド周波数、USB以外の設定がリセットされます。」	設定メニューの[リセット]を実行するときに表示されます。[フィールド周波数]、[USB]、[音量]以外の設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。
「この音声信号では音量の調整はできません。」 (VIDEO 1/VIDEO 2 入力の場合)	本機が対応していない音声信号を入力しているときに、<音量>メニューや音量のショートカットメニューを表示しようとする则表示されます。この場合、音声は出力されません。

第5章 ご参考に

5-1 アーム取付方法

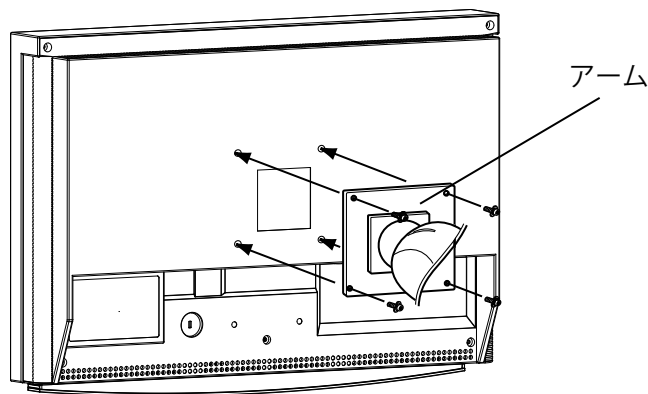
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

[取付方法]

1 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2 スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ4箇所を取り外します。

3 モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



【注意点】

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属しているM4×12mmネジをご使用ください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンド取付時、本機の可動範囲（チルト角）は以下のとおりです。この範囲外で本機を使用しないでください。
 - 上60° 下45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

5 - 2 仕様

パネル	液晶パネル	61cm (24.1) 型カラー TFT、アンチグレア 視野角：上下 178°、左右 178° CR ≥ 10		
	ドットピッチ	0.270mm		
	解像度	1920 ドット × 1200 ライン		
	最大表示色	約 1677 万色：8bit 対応 (10 億 6433 万色中 /10bit-LUT)		
	表示サイズ	518.4mm (水平) × 324.0mm (垂直)		
PC 入力	デジタル信号入力 (PC 1)	入力端子	DVI-D × 1	
		水平走査周波数	31.5 ~ 76kHz：各プリセット信号 ± 1kHz	
		垂直走査周波数	59 ~ 61Hz：各プリセット信号 ± 1Hz (VGA TEXT 69 ~ 71Hz) (720p/1080p ※ 1 時は 49 ~ 51Hz も対応)	
		ドットクロック(最大)	162MHz	
		信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
	アナログ信号入力 (PC 2)	入力端子	D-Sub15 ピン (ミニ) × 1	
		水平走査周波数	31.5 ~ 80kHz：各プリセット信号 ± 1kHz	
		垂直走査周波数	55 ~ 76Hz：各プリセット信号 ± 1Hz (720p/1080p ※ 1 時は 49 ~ 51Hz も対応)	
		ドットクロック(最大)	162MHz	
		入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性	
		入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)	
		ビデオ信号メモリー	50 種 (プリセット 34 種)	
	音声入力	USB 通信		
	プラグ & プレイ機能	VESA DDC 2B		
VIDEO 入力	HDMI 入力※ 2 (VIDEO 1/VIDEO 2)	入力端子	HDMI TypeA × 2	
		対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> 映像信号 - 525i (480i) / 525p (480p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) / 1125p (1080p) : 60Hz - 625i (576i) / 625p (576p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) / 1125p (1080p) : 50Hz 音声信号 - 2ch リニア PCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz / 88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz / 192kHz) 	
	S 映像 / 音声入力 (VIDEO 3)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> 映像：DIN ミニ 4 ピン × 1 音声：ピンジャック × 1 (映像入力と共有) 	
		信号入力レベル (映像)	Y : 1.0Vp-p/75 Ω、C : 0.28Vp-p/75 Ω	
	映像 / 音声入力 (VIDEO 3)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> 映像：ピンジャック × 1 音声：ピンジャック × 1 (S 映像入力と共有) 	
		信号入力レベル (映像)	1.0Vp-p/75 Ω	
	コンポーネント映像 / 音声入力 (VIDEO 4)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> 映像：D 端子 × 1 音声：ピンジャック × 1 	
		対応フォーマット (映像)	[D4 対応] - 525i (480i) / 525p (480p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) : 60Hz	
		信号入力レベル (映像)	Y : 1.0Vp-p/75 Ω、Cb,Cr : 0.7Vp-p/75 Ω	

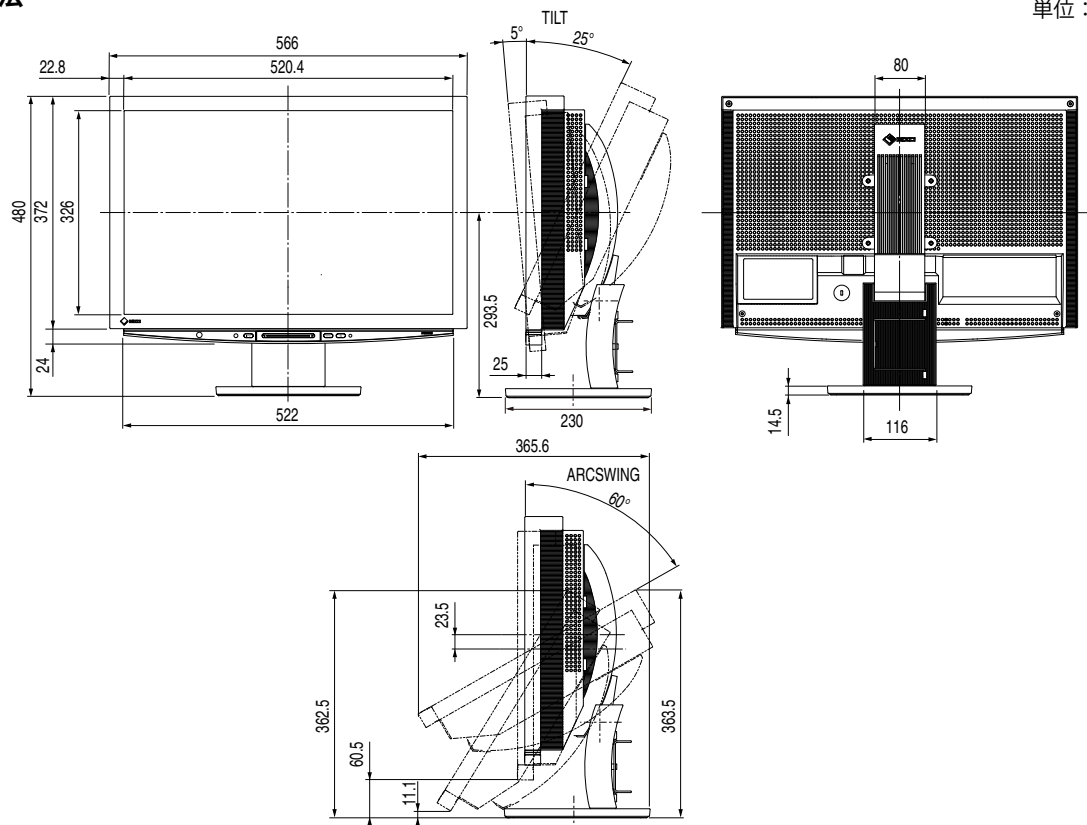
音声出力	音声出力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック×1
	ヘッドホン出力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック×1
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム×2、ダウンストリーム×2
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、1.1A-0.7A
消費電力	画面表示時	110W 以下 (USB 機器接続時) 100W 以下 (USB 機器未接続時)
	節電モード時	・ <信号検出設定>が「すべての入力」の場合： 7W 以下 (入力未信号時、USB 機器未接続時) ・ <信号検出設定>が「現在の入力」の場合： 2W 以下 (PC 入力選択時、入力未信号時、USB 機器未接続時)
	電源スイッチオフ時	1W 以下
寸法	本体	566mm (幅) × 362.5 ~ 480mm (高さ) × 230mm (奥行き)
	本体(スタンドなし)	566mm (幅) × 396mm (高さ) × 92.3mm (奥行き)
質量	本体	約 10.3kg
	本体(スタンドなし)	約 7.9kg
環境条件	温度	動作温度範囲：0°C ~ 35°C 輸送および保存温度範囲：-20°C ~ 60°C
	湿度	動作湿度範囲：30% ~ 80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲：30% ~ 80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲：700hPa. ~ 1060hPa. 輸送および保存気圧範囲：200hPa. ~ 1060hPa.

※1 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

※2 本機はコンピュータからの入力および CEC (Consumer Electronics Control) には対応していません。また、カラースペース (色空間) の xvYCC 規格には対応していません。

外観寸法

単位：mm



設定メニュー項目一覧

項目		PC 1	PC 2	VIDEO 1	VIDEO 2	VIDEO 3	VIDEO 4	PinP	
画面調整	自動画面調整	—	○	—	—	—	—	△※1	
	自動レンジ調整	—	○	—	—	—	—	△※1	
	クロック	—	○	—	—	—	—	△※1	
	フェーズ	—	○	—	—	—	—	△※1	
	水平ポジション	—	○	—	—	—	—	△※1	
	垂直ポジション	—	○	—	—	—	—	△※1	
	解像度	—	○	—	—	—	—	△※1	
	信号フィルタ	—	○	—	—	—	—	△※1	
カラー調整	カラーモード	○	○	○	○	○	○	○	
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○	○	
	黒レベル	○	○	○	○	○	○	○	
	コントラスト	○	○	○	○	○	○	○	
	色の濃さ	○	○	○	○	○	○	○	
	色合い	○	○	○	○	○	○	○	
	色温度	○	○	○	○	○	○	○	
	詳細設定	輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○
		コントラスト拡張	○	○	○	○	○	○	○
		ゲイン	○	○	—	—	—	—	○
		ガンマ	○	○	○	○	○	○	○
ノイズフィルタ		—	—	○	○	○	○	—	
I/P 変換		—	—	○	○	○	○	—	
リセット	○	○	○	○	○	○	○		
サウンド設定	音量	○	○	○	○	○	○	○	
	高音	○	○	○	○	○	○	○	
	低音	○	○	○	○	○	○	○	
	バランス	○	○	○	○	○	○	○	
	音声レベル	—	—	○	○	○	○	—	
PinP 設定	PinP	○	○	—	—	—	—	○	
	子画面位置	—	—	—	—	—	—	○	
	半透明	—	—	—	—	—	—	○	
	子画面サイズ	—	—	—	—	—	—	○	
本体設定	言語選択	○	○	○	○	○	○	○	
	明るさ自動調整	○	○	○	○	○	○	○	
	信号検出設定	○	○	○	○	○	○	○	
	電源ランプ	○	○	○	○	○	○	○	
	ビープ音	○	○	○	○	○	○	○	
	画面サイズ自動切換	—	—	○	○	○	○	—	
	カラースペース	—	—	○	○	—	—	—	
	フィールド周波数	—	—	○	○	—	—	—	
USB	○	○	○	○	○	○	○		
画面サイズ	○	○	○	○	○	○	○		
オフタイマー	○	○	○	○	○	○	○		
インフォメーション	○	○	○	○	○	○	○		
リセット	○	○	○	○	○	○	○		

※1 PinP 表示時に親画面が PC 2 の場合のみ

主な初期設定（工場出荷設定）値

		PC 入力時	VIDEO 入力時	
			VIDEO 1/2	VIDEO 3/4
カラーモード		カスタム		
音量	スピーカー	30		
	ヘッドホン	10		
PinP		オフ	-	
言語選択		日本語		
明るさ自動調整		標準		
信号検出設定		現在の入力		
電源ランプ		オン		
ビープ音		オン		
画面サイズ自動切換		-	有効	
カラースペース		-	自動	-
USB		PC 1		
画面サイズ		フルスクリーン	[480i/480p/576i/576p 信号のとき] 4:3 [1080i/ 720p/ 1080p 信号のとき] 16:9 フル	
オフタイマー		無効		

別売オプション品一覧

保護パネル	EIZO「FP-2400W」
クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
アーム	EIZO「LA-011-W」（壁掛けアーム [1 軸 0 リンク]）
	EIZO「LA-030-W」（壁掛けアーム [3 軸 0 リンク]）
	EIZO「LA-131-D」（フレキシブルアーム [3 軸 1 リンク]）
アタッチメント	EIZO「QM-1」

5 - 3 用語集

色温度 (Temperature)

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:ケルビン (Kelvin) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：暖色で紙色に近い白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1200 の解像度であれば、画像は画面全体 (1 対 1) に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度 (Y) と赤の色差 (U)、青の色差 (V) により表現する YUV、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ (量) をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コントラスト拡張

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

フィールド周波数

モニターが 1 秒間に画面を書き換える回数のことです。映像規格によってこの回数は異なります。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行うことをおすすめします。

輪郭補正

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整を行う前にはレンジ調整を行うことをおすすめします。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。(本機は DVI-I 入力には対応していません。)

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで送受信することができます。なお、本機は入力にのみ対応しています。

I/P (Interlace Progressive) 変換

画面の走査処理を I (インターレース) から P (プログレッシブ=ノンインターレース) に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

5 - 4 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。(アナログ信号の場合のみ)

表示モード	ドット クロック		周波数		極 性
			水平 : kHz	垂直 : Hz	
NEC PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	水平	31.48	負	
		垂直	70.10	負	
VGA 640 × 480@60Hz	25.2 MHz	水平	31.47	負	
		垂直	59.94	負	
VGA 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負	
		垂直	70.09	正	
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2 MHz	水平	35.00	負	
		垂直	66.67	負	
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3 MHz	水平	49.72	負	
		垂直	74.55	負	
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0 MHz	水平	68.68	負	
		垂直	75.06	負	
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2 MHz	水平	74.76	正	
		垂直	74.76	正	
VESA 640 × 480@73Hz	31.5 MHz	水平	37.86	負	
		垂直	72.81	負	
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	負	
		垂直	75.00	負	
VESA 720 × 480@60Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負	
		垂直	59.94	負	
VESA 800 × 600@56Hz	36.0 MHz	水平	35.16	正	
		垂直	56.25	正	
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正	
		垂直	60.32	正	
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	水平	48.08	正	
		垂直	72.19	正	
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	水平	46.88	正	
		垂直	75.00	正	
VESA 848 × 480@60Hz	33.8 MHz	水平	31.02	正	
		垂直	60.00	正	
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負	
		垂直	60.00	負	
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0 MHz	水平	56.48	負	
		垂直	70.07	負	
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	水平	60.02	正	
		垂直	75.03	正	
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0 MHz	水平	67.50	正	
		垂直	75.00	正	
VESA CVT 1280 × 768	79.5 MHz	水平	47.78	負	
		垂直	59.87	正	
VESA CVT 1280 × 768	102.3 MHz	水平	60.29	負	
		垂直	74.89	正	
VESA CVT RB 1280 × 768	68.3 MHz	水平	47.40	正	
		垂直	60.00	負	
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正	
		垂直	60.00	正	
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正	
		垂直	60.02	正	
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	正	
		垂直	75.03	正	
VESA 1360 × 768@60Hz	85.5 MHz	水平	47.71	正	
		垂直	60.02	正	
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0 MHz	水平	75.00	正	
		垂直	60.00	正	

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整を行ってください。ただし、調整を行っても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整を行っても画面を正しく表示することができません。

VESA CVT 1680 × 1050	146.3MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050	119.0MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負
VESA CVT RB 1920 × 1200	154.0MHz	水平	74.04	正
		垂直	59.95	負

(マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途として以下の信号にも対応しています。)

表示モード	ドット クロック		周波数		極 性
			水平 : kHz	垂直 : Hz	
720p@50Hz 1280 × 720p	74.3 MHz	水平	37.50	正	
		垂直	50.00	正	
720p@60Hz 1280 × 720p	74.3 MHz	水平	45.00	正	
		垂直	59.94	正	
1080p@50Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	56.25	正	
		垂直	50.00	正	
1080p@60Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	67.50	正	
		垂直	59.94	正	

第6章 アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より3年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（接続している機器や設定など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- 本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出してください。
- * なお、詳しい情報については、弊社のホームページもあわせてご覧ください。(http://www.eizo.co.jp)

- **法人のお客様** 本製品は、法人のお客様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAXでの問合せ受付
076-274-7369 (専用)	076-274-2416
月曜日～金曜日 (祝祭日及び弊社休日を除く) 9:30～17:30	24時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)

- **個人のお客様** 本製品は、PCリサイクル対象製品です。本製品をご購入された個人のお客様は、同梱の「PCリサイクルマーク申込のご案内」を参照して、PCリサイクルマークをご請求ください。マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

[情報機器リサイクルセンター]

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.eizo.co.jp>



初版 2008年6月

03V22419A2
(U.M-MH240W)